



パシフィックシステム株式会社

PACIFIC SYSTEMS

パシフィックシステム株式会社 2023年3月期 決算説明会

2023年6月23日

- **企業概要**
- **2023年3月期 決算概況**
- **2024年3月期 業績予想**
- **23中期経営計画の進捗状況と
今後の取組み**
- **トピックス（当社商材のご紹介）**

企業概要

社名

パシフィックシステム株式会社

本社

埼玉県さいたま市桜区田島8丁目4番19号

設立

1980年8月

資本金

7億77百万円

従業員

640名(連結：2023年3月末)

上場先

東京証券取引所 スタンダード (証券コード 3847)

事業内容

製造業、流通業、金融業等向けの情報サービス事業

連結子会社

株式会社システムベース

岩手県内の企業及び自治体向けを中心に当社と連携した情報サービス事業を行う

沿革

西暦（和暦）	月	概要
1980年（昭和55年）	8月	秩父セメント(株)(現太平洋セメント(株))システム部が分離独立し、東京都文京区にシステム総合開発(株)(現当社)を設立。情報サービス事業を開始。
1983年（昭和58年）	6月	秩父セメント(株)の子会社で情報サービス事業を営む(株)ジェスと合併。
	9月	熊谷事業所、営業所(現熊谷センター)を埼玉県熊谷市に開設。
1988年（昭和63年）	12月	通商産業省(現経済産業省)システムインテグレータ登録・認可。
1989年（昭和64年）	6月	秩父セメント(株)の子会社で計量制御システム、生産管理システム等の製造販売を営む(株)ジェムと合併。
1991年（平成3年）	8月	大阪支社(現西日本支社)を大阪府大阪市淀川区に開設。
	9月	日本初のGPSを利用した車両動態監視システムの販売開始。
1996年（平成8年）	4月	秩父小野田(株)(現太平洋セメント(株))の子会社で情報サービス事業を営む(株)オークスの営業全部を譲り受け。
1999年（平成11年）	10月	太平洋セメント(株)の子会社で情報サービス事業を営む(株)アイシスと合併し、商号をパシフィックシステム(株)に変更。
2002年（平成14年）	7月	当社の子会社で計測機器、制御機器等の開発、販売等を営む(株)エステックと、当社の関係会社で情報サービス事業を営むエス・エス・ケー販売(株)とが合併し、パシフィックテクノス(株)(当社連結子会社)が発足。生コンクリート関連情報サービス事業を同社に集約。
2004年（平成16年）	9月	本社を東京都中央区に移転。

沿 革

西暦（和暦）	月	概要
2005年（平成17年）	11月	ISO14001(環境ISO)の認証を取得。
2007年（平成19年）	4月	ジャスダック証券取引市場（現東京証券取引所 JASDAQ市場）へ株式を上場。
	10月	(株)システムベース株式取得により子会社化。
	12月	西日本支社を大阪府大阪市西区へ移転。
2009年（平成21年）	3月	ISO9001(品質ISO)の認証を取得。
2010年（平成22年）	1月	(株)ソーシャルネットから事業を譲り受け、中部センター(愛知県名古屋市中区)を開設。
2011年（平成23年）	1月	東京オフィスを東京都港区に開設。
	2月	子会社パシフィックテクノス(株)と合併。 本社を埼玉県さいたま市に移転。
2012年（平成24年）	3月	ISO27001（情報セキュリティISO）の認証を取得。
2017年（平成29年）	8月	東京オフィスを東京都中央区に移転。
2022年（令和4年）	4月	東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場に移行。

事業所展開 (主要顧客対応のためサービス拠点として展開)



当社の事業区分（セグメント）



システム運用・管理等

- ユーザシステムの運用・管理サービス、データセンタ、パソコン教育、保守サービス等

システム販売

- 画像処理システムや生コンクリート業界向けシステム、医療システム等のシステム商品の販売
- ネットワーク構築等のインフラサービス

ソフトウェア開発

- 製造業・流通業・金融業等幅広くアプリケーションシステムの受託開発業務
- 製造業向けにERP事業のコンサルとシステム開発

機器等販売

- パソコン、サーバ及び周辺機器とパッケージソフトウェア等の仕入・販売



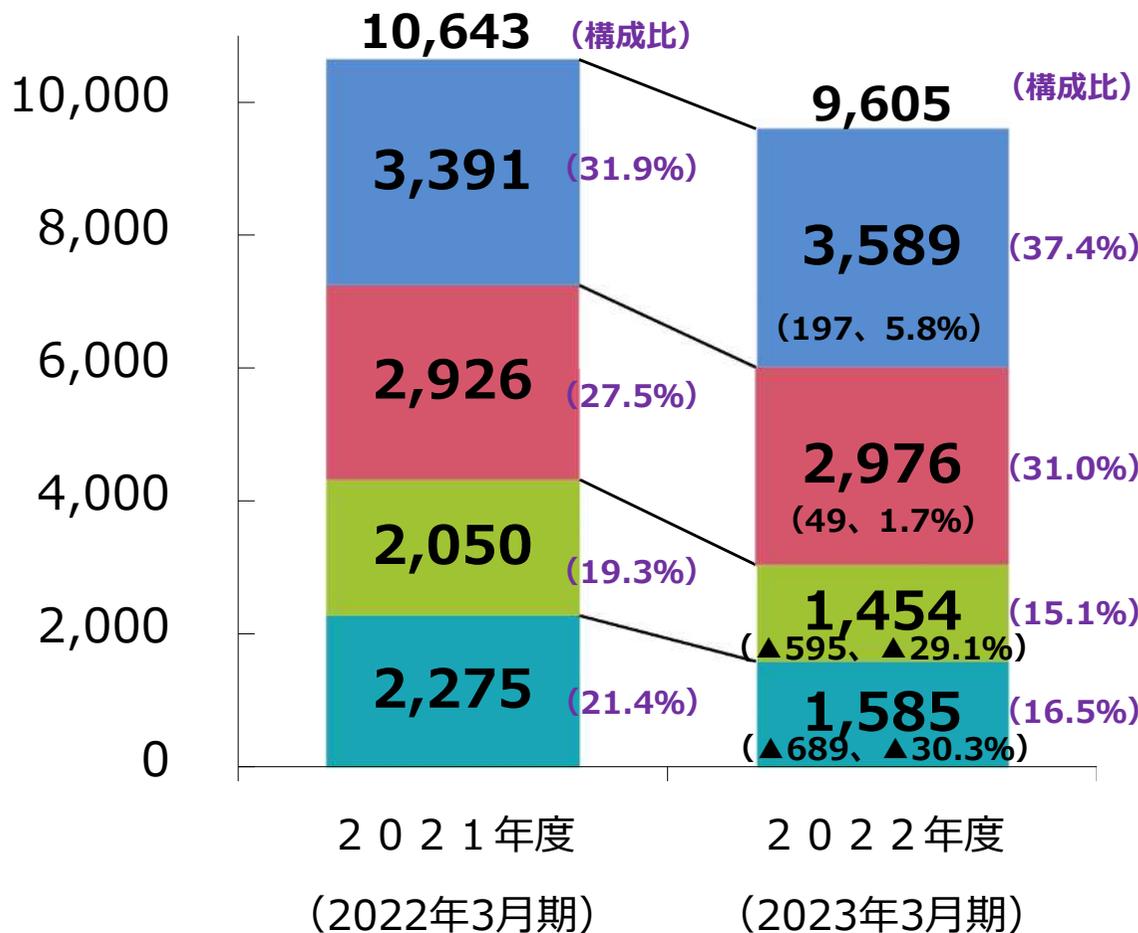
2023年3月期 決算概況



決算年度 (単位：百万円)	2021年度 (2022年3月期) (A)	2022年度 (2023年3月期) (B)	前期差異 (B-A)	増減率
売上高	10,643	9,605	△1,038	△9.8%
売上総利益 (利益率)	2,618 (24.6%)	2,467 (25.7%)	△151	△5.8%
販売管理費	1,855	1,894	38	2.1%
営業利益 (利益率)	763 (7.2%)	573 (6.0%)	△190	△24.9%
経常利益 (利益率)	771 (7.2%)	583 (6.1%)	△187	△24.3%
当期純利益 (利益率)	521 (4.9%)	336 (3.5%)	△185	△35.5%

連結 事業4区分別売上高の前期比

[単位：百万円]



システム運用・管理等

システム運用支援の増加やデータセンタ業務の増加により、増収

システム販売

センシング事業において顧客の設備投資の回復があり、医療システムや生産管理システムの受注増もあったため、増収

ソフトウェア開発

前期から継続している大型プロジェクトが終盤に向かい規模縮小、顧客の設備投資の抑制・延期等により受注減で減収

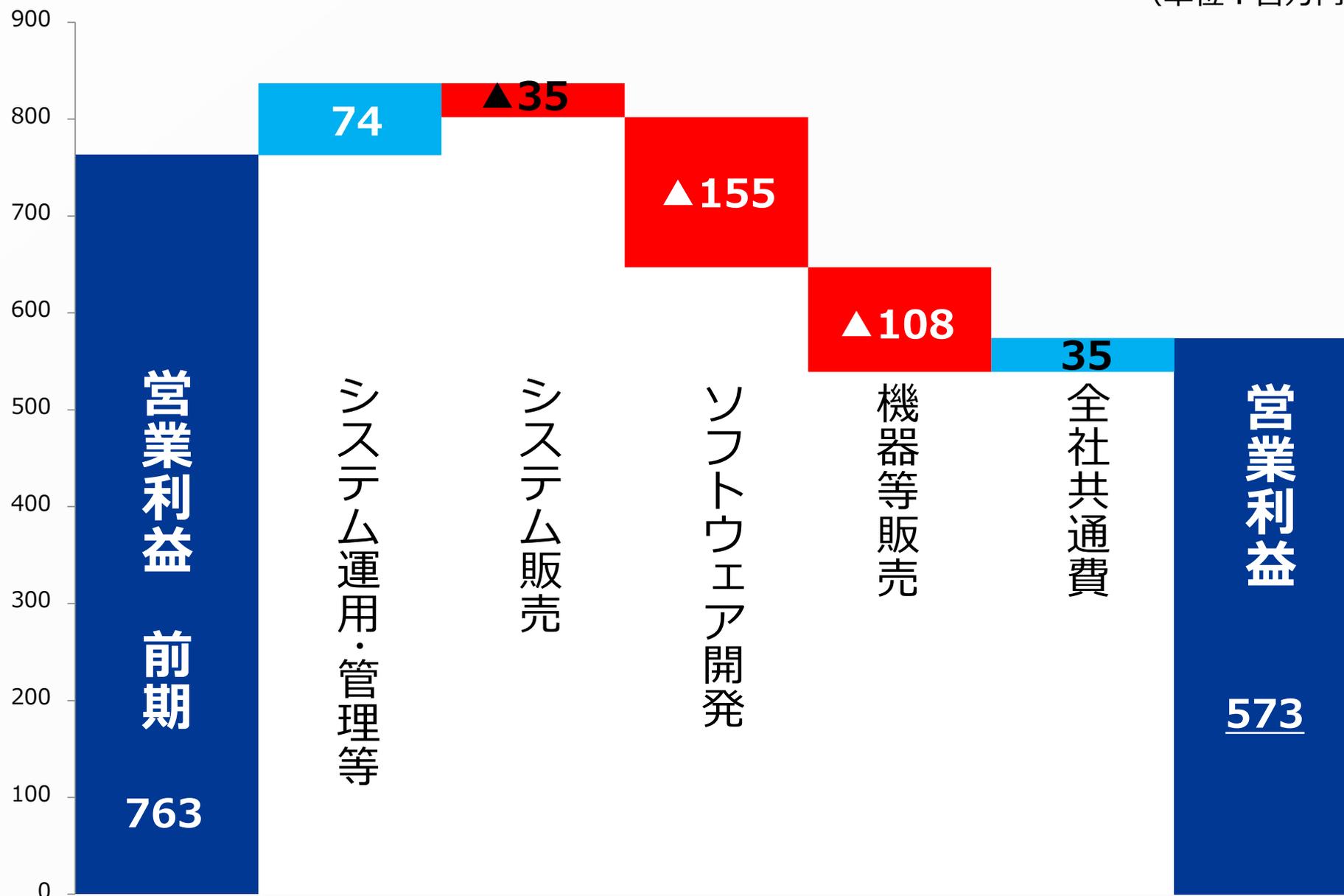
機器等販売

前期のGIGAスクール特需の反動や、顧客の設備投資抑制・延期等により受注減で減収

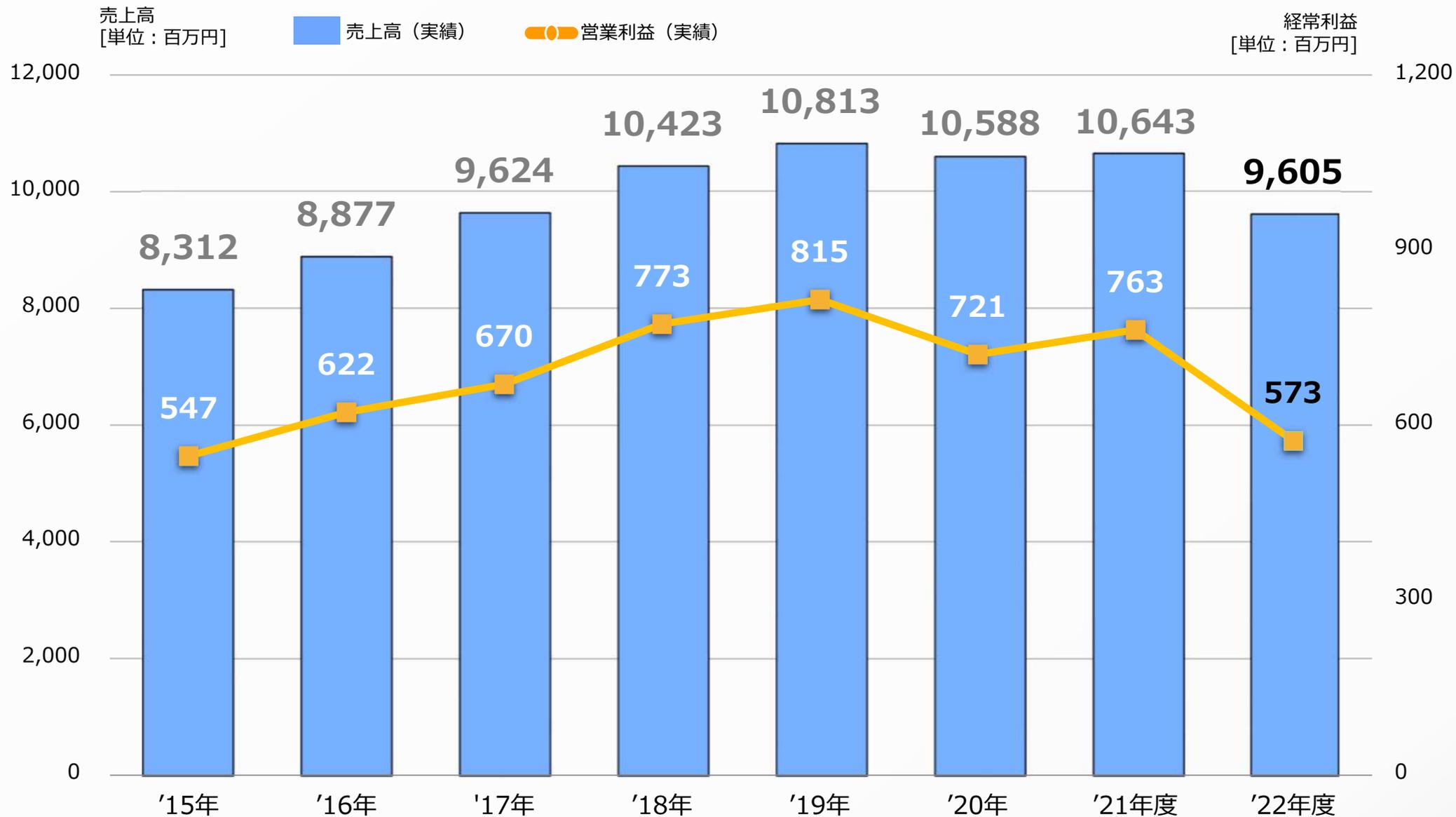
(単位：百万円)

区 分	2022年3月期 セグメント利益 (A)	2023年3月期 セグメント利益 (B)	前期比 (B - A)	増減率
システム運用・管理等	1,090	1,164	74	6.8%
システム販売	348	313	▲35	▲10.2%
ソフトウェア開発	323	167	▲155	▲48.2%
機器等販売	219	111	▲108	▲49.4%
全社共通費 (販売費・一般管理費)	▲1,218	▲1,183	35	▲2.9%
合 計	763	573	▲190	▲24.9%

(単位：百万円)



連結 損益状況の推移



(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	5,350	流動負債	2,153
		固定負債	409
		負債合計	2,562
固定資産	2,884	純資産の部	
		純資産合計	5,672
資産合計	8,235	負債・ 純資産合計	8,235

(単位：百万円)

		負債の部	
流動		流動負債	2,153
		固定負債	409
		負債合計	2,562
		純資産の部	
固定資産	2,884	純資産合計	5,672
資産合計	8,235	負債・ 純資産合計	8,235

【自己資本比率】
63.9% → 68.9%

【純資産合計】
前期比1.9%増加

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	5,350	流動負債	2,153
		固定負債	409
		負債合計	2,562
		純資産の部	
		純資産合計	5,672
資産合計	8,235	負債・ 純資産合計	8,235
一株当たり純資産		3,833円81銭	

【1株当たり純資産】

前期比で 70円 48銭 増



2024年3月期 業績予想

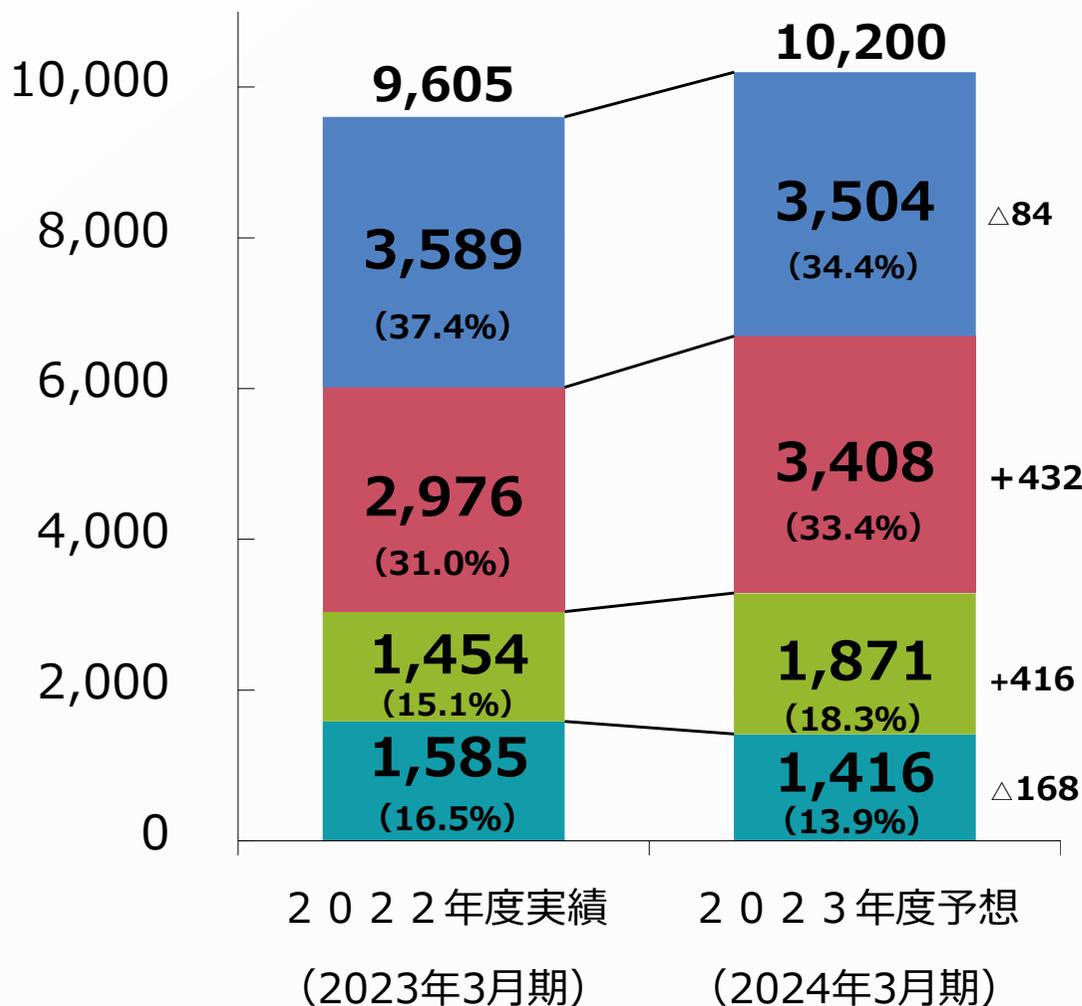


決算年度 (単位：百万円)	2022年度 (2023年3月期) 実績 (A)	2023年度 (2024年3月期) 予想 (B)	前期差異 (B-A)	増減率
売上高	9,605	10,200	595	6.2%
売上総利益 (利益率)	2,467 (25.7%)	2,757 (27.0%)	290	11.8%
販売管理費	1,894	1,983	89	4.7%
営業利益 (利益率)	573 (6.0%)	774 (7.6%)	200	35.0%
経常利益 (利益率)	583 (6.1%)	782 (7.7%)	198	34.0%
当期純利益 (利益率)	336 (3.5%)	537 (5.3%)	200	60.0%

連結

事業4区分別売上高の前期比

[単位：百万円]



システム運用・管理等

システム運用支援、保守・保守関連を中心に前期並みに推移する見通し

システム販売

生コンや医療関連の推進、AIスランプ予測システム『PreSlump AI』等のAI関連技術の展開、IoT技術関連、情報セキュリティ関連などの獲得を見込み増収

ソフトウェア開発

グループウェアシステム (SmartDB) の展開・拡大を進め増収

機器等販売

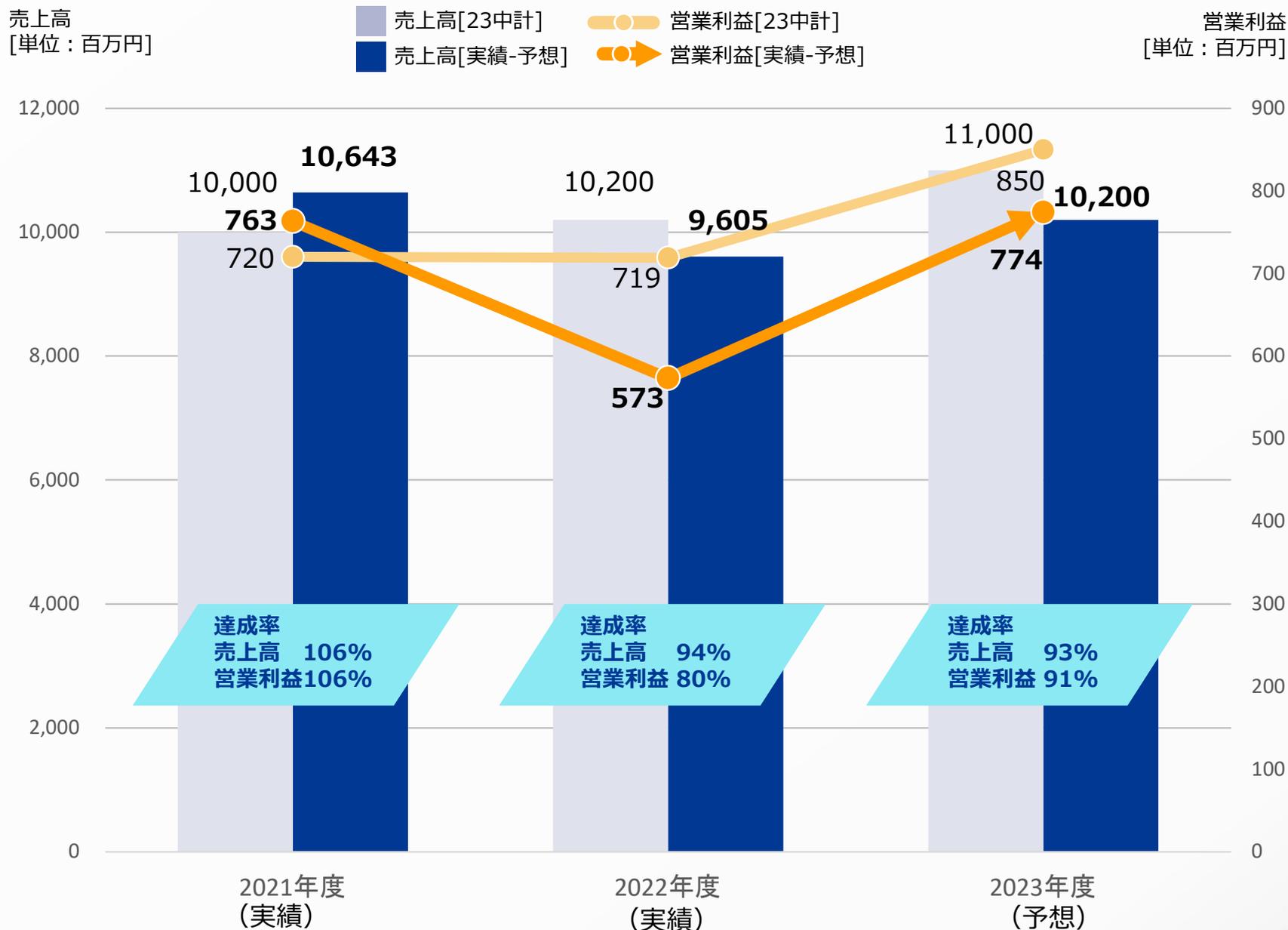
2022年度の予算外売上増の反動を受けて減収



23中期経営計画の 進捗状況と今後の取組み



連結



情報サービス業界

- ・各企業におけるDX推進の流れは継続し、AI・IoT技術などのICT（情報通信技術）の役割は従来以上に重要性を増していく

- ・情報化投資意欲の高まりは継続し、日進月歩で新たな技術やサービスが生まれ、その変化に臨機応変に対応していくことが重要

2024年3月期の活動方針

**23中期経営計画に従い、
「環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、
企業価値の向上に努める」**



お客様と社会に貢献するサービス・技術を提供し続け、企業価値を高めていく

◎ **社会・顧客が喜ぶ成果を提供する**

◎ **常にチャレンジ精神を発揮する**

◎ **企業価値（財務的価値・人材・技術力・社会的価値）を高める**

「攻め」～コスト・人材を注いでチャレンジし、
発展に直接つなげる

- ①強みを知り、強化する(得意分野を伸ばす)
- ②既存技術の展開(応用力で分野拡大・他社との協業など)
- ③新規技術の獲得(基礎技術・得意分野・ニッチ)
- ④営業力の強化(効率的な営業・組織力)
- ⑤利益率の向上(人工当たりの利益向上)
- ⑥開発作業の変革(品質向上・効率化・工程間意思疎通・顧客コミュニケーション・R-コト)

「守り」～管理強化とそれを下支えする制度の構築、次の成長の準備

- ① **品質向上** (全部門が対象、社内でも「次工程はお客様」の精神)
- ② **顧客満足度の向上** (顧客の満足度(=不満度)を感じ取る)
- ③ **ガバナンス強化** (各部門の統制・管理 問題点が埋もれない仕組み)
- ④ **不採算案件の極小化** (=上記①②③)
- ⑤ **安全衛生の徹底と社員の健康度向上**
- ⑥ **リスク管理の強化** (社員一人一人がリスクを認識できるように)
- ⑦ **成長・教育・やり甲斐の充実化**

「最重点課題」

- ・利益率の向上
- ・品質の向上
- ・不採算案件の極小化
- ・顧客満足度の向上

⇒プロジェクトの見える化、管理強化

- ・強みを知り、強化する
- ・新規技術の獲得
- ・既存技術の展開

⇒着実に進めている新たな技術・製品・サービスを「営業力の強化」により展開

新たな技術・製品・サービス

- ✓ AIスランプ予測システム
『PreSlump AI』を始めとしたAI関連技術
- ✓ スマートファクトリ等のIoT関連技術
- ✓ セキュリティ脆弱性診断等の
情報セキュリティ関連
- ✓ グループウェアシステム等の展開・拡大



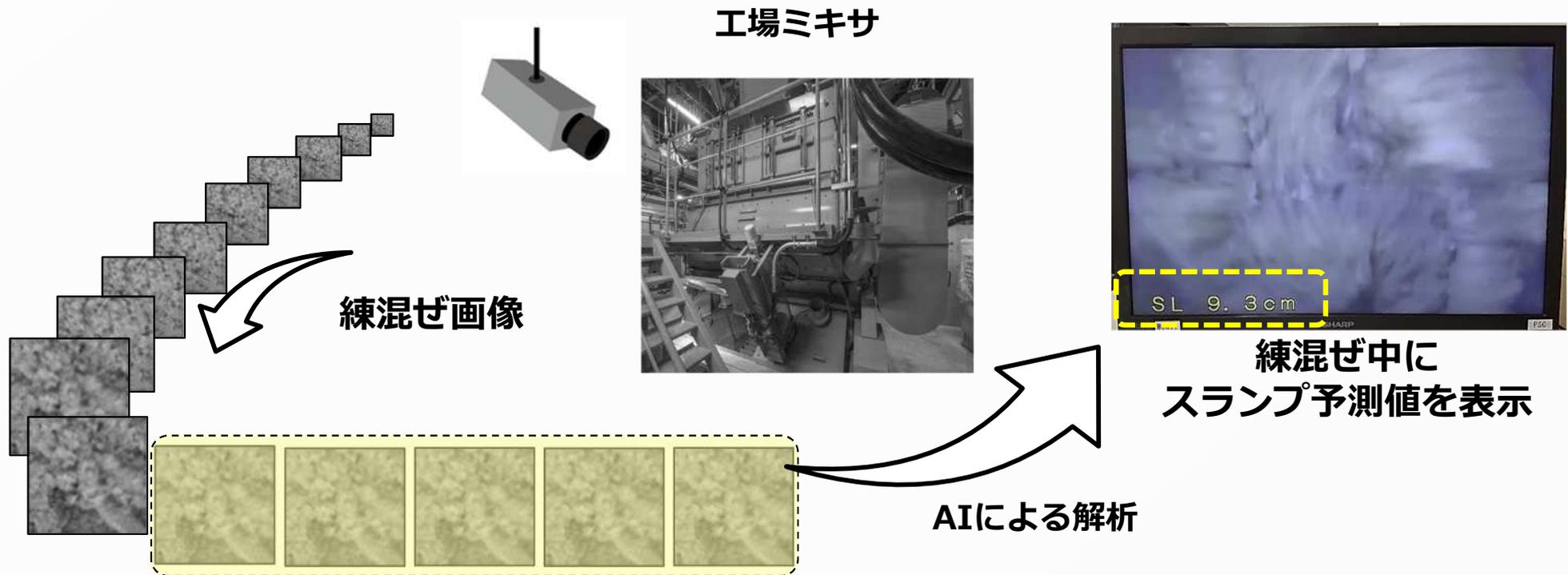
トピックス(当社商材のご紹介)



AIスランプ予測システム



生コン製造時に練混ぜ画像をAIが解析し、生コンのスランプをリアルタイムで予測



生コンのスランプを、リアルタイムに、高精度に、**定量評価**
全バッチの**品質予測が可能**となり**品質の安定・向上に寄与**

システム稼働の様子（動画）

PRE Previous
SLump Precisely
AI Predict[®]



予測はプラント操作盤と連動し、練り混ぜが始まると自動的にスランプ値が表示されます。

PreSLump AIの導入により期待できる効果

- ・ 熟練の経験者が不足気味
- ・ 若手の育成に手が回らない
- ・ 品質管理と安定製造を確実に



AIが熟練工の代わりにサポート

- ・ 手間のかかるスランプ試験の回数を減らしたい
- ・ 全バッチのスランプ試験はムリ



簡便かつリアルタイムに
全バッチの品質を確認できる

- ・ 熟練度や体調によって精度に差



精度は安定
予測性能も変動しない

PARCS Suite[®] WATCHER

日常の監視作業を **IoT** により **自動化** し、**負荷を軽減**！

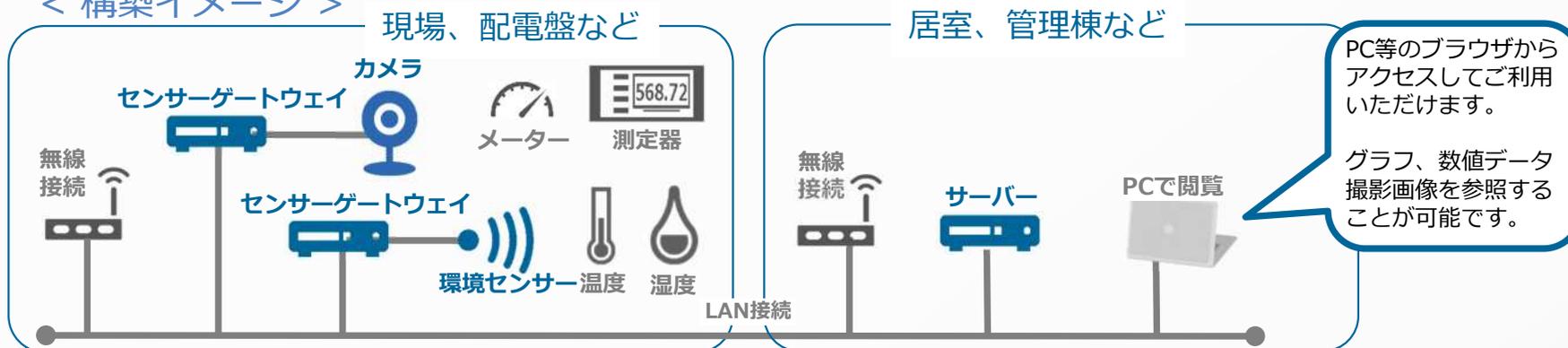
POINT!!

- 1 **環境センサー・カメラを用いて様々な数値を取得可能**
湿度、温度、騒音指数、電圧、圧力、など様々な値を取得
- 2 **離れた場所で確認が可能**
巡回の必要なし。クリーンルームのような入退出に手間がかかる所も！
- 3 **監視作業の自動化、24時間365日いつでも監視！**
異常検知時には警報表示。担当者のスマホにメールでお知らせ！



もう、遠いところまで
見に行く必要はありません

< 構築イメージ >



PARCS Suite® WATCHER 導入事例 北本市 Covid-19ワクチン保管庫温度監視



広報誌で
取り上げていただきました。

PARCS Suite® WATCHER

パシフィックシステム株式会社

グループ名: DEMO-DIGITAL > センサー名: 北本市超低温冷蔵庫04 > モニタ画像 詳細

期間: 2021/06/11 16:52 [29] ~ 2021/06/11 18:52 [29] 検索 CSV出力

センサー名	画像	温度[°C]	取
北本市超低温冷蔵庫04		-79.0	20
北本市超低温冷蔵庫04		-78.0	20
北本市超低温冷蔵庫04		-78.0	20
北本市超低温冷蔵庫04		-78.0	20
北本市超低温冷蔵庫04		-78.0	20
北本市超低温冷蔵庫04		78.0	20



PARCS Suite® WATCHER

パシフィック

グループ名: DEMO-DIGITAL

グループ名	センサー名	センサー機器	温度[°C]	計測時刻	状態メッセージ
DEMO-DIGITAL	北本市超低温冷蔵庫01	カメラ	-77.0	2021/06/11 18:50:06	✓
	北本市超低温冷蔵庫02	カメラ	-80.0	2021/06/11 18:50:06	✓
	北本市超低温冷蔵庫03	カメラ	-79.0	2021/06/11 18:50:06	✓
	北本市超低温冷蔵庫04	カメラ	-78.0	2021/06/11 18:50:05	✓

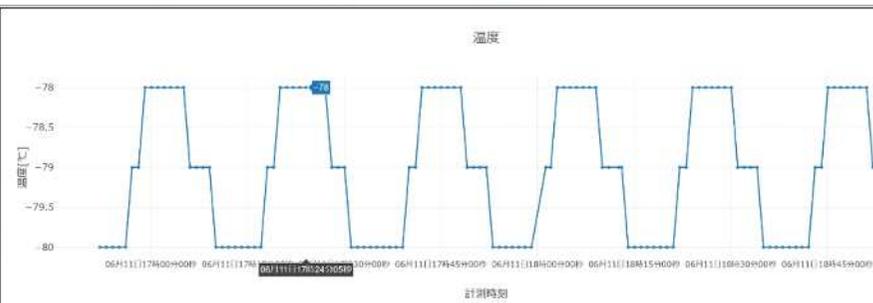
PARCS Suite® WATCHER

パシフィックシステム株式会社

グループ名: DEMO-DIGITAL > センサー名: 北本市超低温冷蔵庫04

温度

期間: 2021/06/11 16:52 [29] ~ 2021/06/11 18:52 [29] 検索 CSV出力 トップ画面に戻る



スケジュール管理 表示列管理

スケジュール

監視画面表示例

PARCS Suite® WATCHER 導入事例

理化学研究所 生命機能科学研究センター様

日常的な監視作業(温度/圧力/設備等)を自動化し、作業効率化に貢献!



監視対象
: 冷蔵庫
冷凍庫



監視対象
: 恒温槽



監視対象
: 研究設備



監視対象
: 温度計
圧力計



PARCS Suite[®] WATCHER 導入事例 理化学研究所 生命機能科学研究センター様



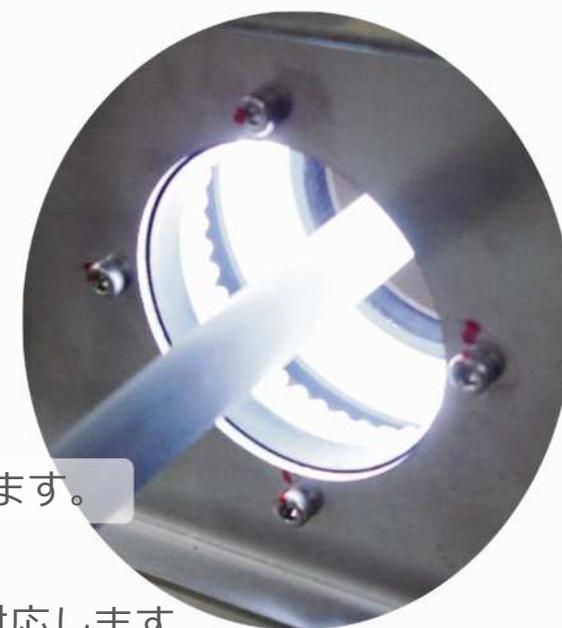
設備、研究機器設置例

円筒形外観検査装置

円筒形の **表面全て** を連続検査します。



- 1 360° 円筒形の外周が検査可能！**
既存のラインに設置可能なため、生産工程への影響がありません。
- 2 多彩な素材、サイズ（径）に対応！**
幅広い口径（φ0.5～90mm）、模様や折目等の柄付きにも対応します。
- 3 様々な検査対象への実績あり！**
鋼材、樹脂、紙、織物、ワイヤー、木材（箸）等、様々な素材に対応します。

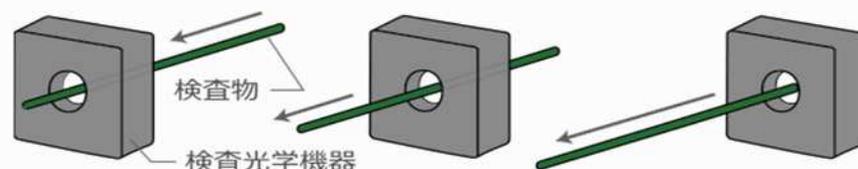


< 導入実績 >

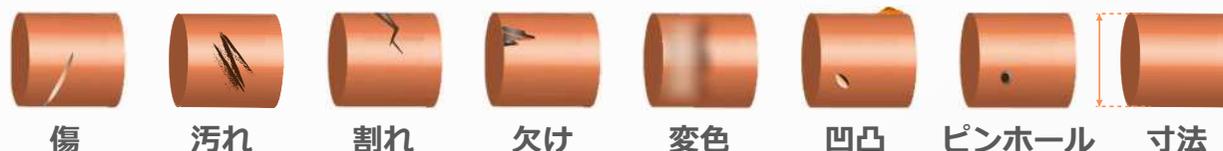
ホース	3式
金属棒	2式
プラコア	2式
雨どい	1式
ワイヤー	1式
チューブ	1式
箸	1式
試験管*	54式

*外周に貼られたラベル検査

< 検査の仕組み >

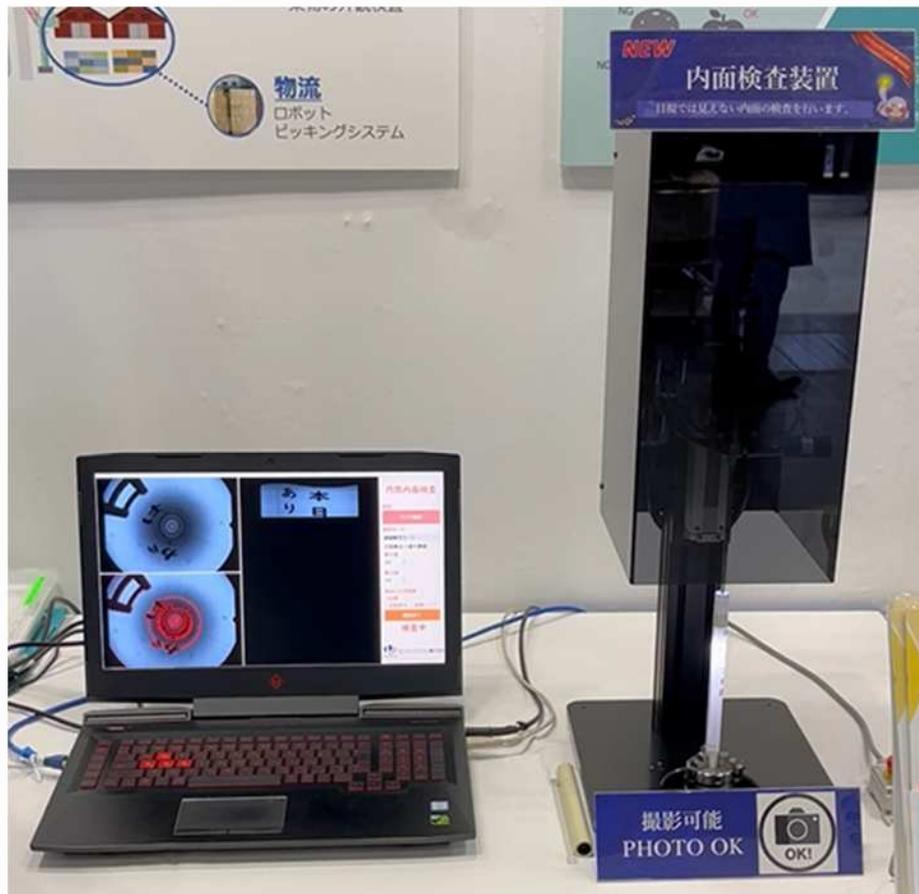


< 検査項目例 >



内面検査装置

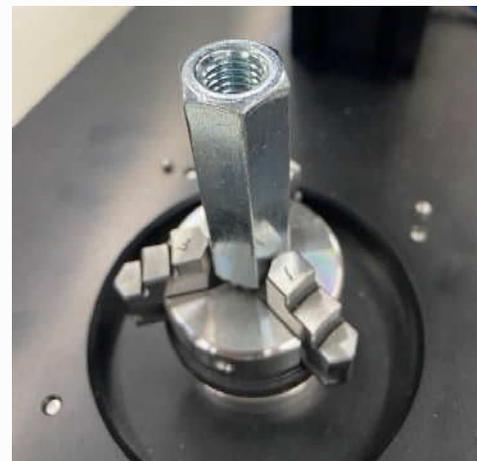
目視では見えない細い円筒形内面全て(360°)の検査



内面検査装置 (展示会デモ機)

<検査対象目安(参考値)>

口径 : $\phi 12\text{mm}$ 以上
検査有効長 : $\sim 1000\text{mm}$

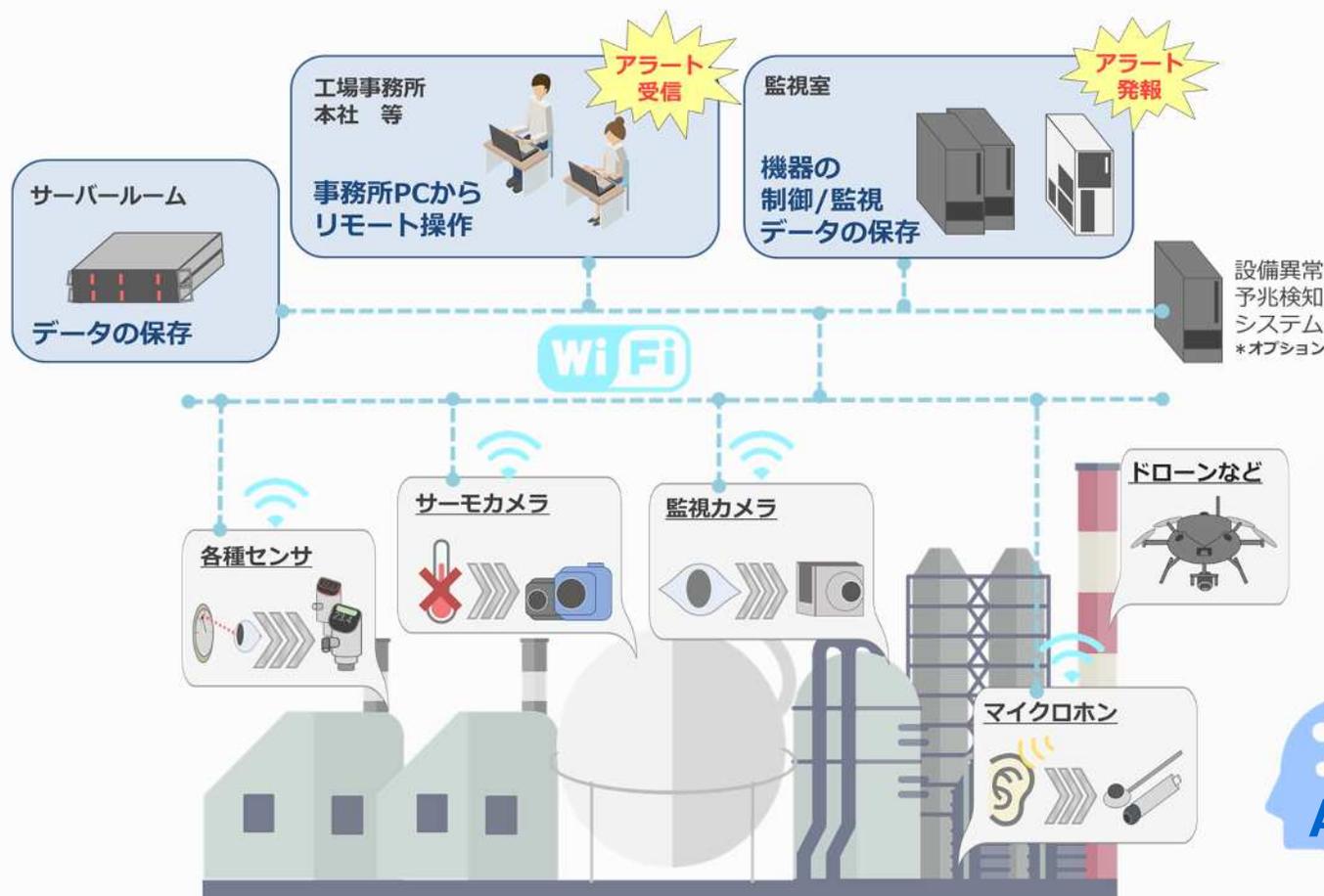


画像を平面に変換処理をしています

長ねじ内面撮影例

スマートファクトリー

IoT・AI・ドローン・ネットワーク技術を総合的に組合わせたサービス



スマートファクトリー 大規模工場導入事例

< 導入実績 >

圧力センサ(測温機能搭載)	118台
レベルセンサ	27台
流量センサ(測温機能搭載)	41台
監視カメラ	11台
サーモカメラ	2台
マイク	6台

監視画面



マイク (音検知用)



カメラ (画像監視)



圧力センサー



ドローン (画像監視)





<免責事項>

本開示資料に記載されている将来の計画等に関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の計画数値、施策の実現を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。